

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 特別養護老人ホーム湘南けやきの郷

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境								3.2
1 音環境				3.0	0.15	2.2	1.00	2.7
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	2.1	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				3.1	0.35	3.2	1.00	3.1
2.1 室温制御				3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温設定				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		熱貫流率U: 開口部U=3.5、外壁U=0.79		4.0	0.25	4.0	0.43	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	3.0	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				3.1	0.25	3.6	1.00	3.2
3.1 昼光利用				3.4	0.30	5.0	0.30	
1 昼光率		個室の昼光率:U=3.4		3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		採光の為に中庭を6ヶ所設けている		4.0	0.40	5.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度				3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度				-	-	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境				3.6	0.25	4.2	1.00	3.7
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		建材はF を使用し、完成後、化学物質測定を行う		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御				1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.0	0.40	4.2	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.60	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		個室は10㎡/床以上確保しており、かつ多床室は無し		3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	3.0	-	
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.31	-	-	2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電設備を設置し、浸水の無いよう地上に設けている	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	通信手段の多様化を図り、浸水の無いよう地上に設けている	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	0.31	3.0	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	通風・採光等の為の中庭を6ヶ所設けている	4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	ERR=39.7	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水型便器を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア、可動間仕切り等使用	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1 消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材		3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が参照値に対して-33%	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車場36台、自転車置場20台、管理用の駐車施設を確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	